

子宮頸がんの話題

婦人科領域のがんには、子宮にできる子宮頸がんと子宮体がん、卵巣にできる卵巣がんがあります。本日はこのうちの子宮頸がんについて解説したいと思います。

近年、若年者の子宮頸がん罹患率が急速に増加し、20歳代・30歳代女性でのがんの発生率では第1位を占めています。日本では年間約12,000人の女性が罹患、約3,000人が死亡しており、女性にとっても、その家族にとっても、深刻で恐ろしい病気だと言えるでしょう。ただし、早期に発見・治療された場合には、多くの方が治り、普通に社会復帰され、元気に生活されています。



産婦人科部長
谷本 博利

がんの治りやすさを表す指標に、治療開始から5年経過して生存している割合を示す「5年生存率」という概念がありますが、子宮頸がんではⅠ期（がんが子宮頸部に限局した状態）で発見された場合の5年生存率は93%です。その一方で、Ⅳ期（がんが小骨盤を超えたり直腸や膀胱に及んだ状態）では5年生存率24%と、大きな違いがあります。子宮頸がんでは死なないためにはⅠ期までの早期に発見することが重要と考えられます。そして子宮頸がんを知るうえで重要なポイントとして、Ⅰ期の前に0期（上皮内がん）と呼ばれる状態があり、さらにその前段階として、子宮頸部異形成（軽度・中等度・高度の3段階）と呼ばれる前がん状態があります。実際にがんになる前に前がん状態の時期が数年あることを知っていれば、この時期に子宮がん検診を受けて早期発見ができることを納得していただけたらと思います。仮にがんが発見されたとしても、検診を受けていれば、ほとんどは0期～Ⅰ期の早期に発見されると言えるでしょう。進行がんの状態で見られるのは特殊なタイプのがんを除いて、検診を受けていない事例が多いようです。

頸がん発症の低年齢化を受けて2004年から子宮頸がん検診の受診年齢が20歳以上にされましたが、欧米での70～80%の受診率と比較して、日本の受診率は約30～40%と少ないのが現状です。子宮がん検診の有益性と重要性を知っていれば、子宮頸がんになってつらい思いをしなくてすむかもしれません。

認定看護師によるがん相談

日本人の2人に1人はがんに罹患する現在、私たち緩和ケア認定看護師は、がんと診断された時から、人生最期の時を迎えるその時まで、患者さんご家族の意思を尊重し、その人らしい生活を送ることができるようにサポートしています。

緩和ケアとは、がんの治療ができなくなっていくのではなく、「がんと診断された時からの緩和ケア」と言われる中、早い時期から適切に緩和ケアを提供するために、外来で告知される場面に同席させて頂き、患者さんおよびご家族の精神的サポートに努めています。また、がん治療中においては、患者さんのお困りや気がかりなことをいち早くキャッチするために、外来および入院で『生活のしやすさに関する質問票』を記入して頂いています。痛み、様々なからだの症状（だるさ、吐き気、息苦しさ）、気持ちのつらさ（不安、眠れない）などのからだところの苦痛に対して、治療・ケアを提供している緩和ケアチームがあります。このチームは医師、認定看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、臨床心理士、歯科衛生士などのメンバーで構成されており、より専門的な医療・ケアを提供し、また患者さんの苦痛な症状が早期に緩和し、そしてQOL（クオリティー・オブ・ライフ）が改善できるよう、メンバーと共に支援をおこなっています。



緩和ケア認定看護師
伊藤 美幸

連携医療機関のご紹介

日頃より大変お世話になっている地域の先生方をご紹介します。

村上産婦人科クリニック 院長 村上 朋弘 先生



広島大学を卒業して広島大学病院、双三（三次）中央病院、県立広島病院、尾道総合病院で勤務した後に、縁あって安佐市民病院でお世話になりました。

安佐市民病院を退職し、2005年4月に可部亀山で産婦人科を開業しました。今年で13年目になります。

開業医は患者さんとの距離が近いので、患者さんの立場に立ってよくお話を聞いて、皆さんに満足していただける診療を心がけていますが、なかなか理想どおりにならないこともあり、まだまだ開発途上と思っています。

安佐市民病院には産婦人科だけでなくいろいろな診療科にお世話になり、難しい疾患や緊急の時も快く診察、治療をしていただき感謝しています。

特に最近是指導医の先生だけでなく、若い医師やコメディカルのスタッフの方々も患者さんや地域連携のため頑張っていると感じられます。

今後数年は移転などがありさらに忙しくなることと思いますが、今後もよろしくお願いします。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	—
午後14:30～18:00	○	○	—	○	○	—	—



〒731-0231
広島市安佐北区亀山二丁目6-20
TEL (082) 819-1333

ロボット支援下手術で 国内最速記録を達成しました!!

世界最新式手術支援用ロボットDaVinci Xiが2015年12月に当院に導入され、泌尿器科医師、看護師、MEでチームを作り盤石の体制で2016年1月27日から前立腺癌に対するロボット支援下前立腺全摘除術を開始しました。すでに腹腔鏡下前立腺全摘除術の経験が350例を超えていたため、スムーズに導入可能でした。また、2016年4月1日からは腎臓がんに対するロボット支援下腎部分切除術も新たに保険収載となりましたので、事務的な手続きを経て2016年8月11日から開始しました。これにつましてもすでに腹腔鏡下腎部分切除術の経験が100例以上ありましたので、安全に導入可能でした。かような状況でもなく同一日に複数症例のロボット支援下手術を施行するようになり、気がついてみると、開始からちょうど365日目となる2017年1月27日に100例目を無事終了することができました。ロボット支援下手術導入100例目が開始から365日目は、これまでの国内最速記録だそうで記念の盾をいただきました。

さらに質の高い最先端泌尿器外科医療を提供できますように、妥協を許さず日々研鑽を積んで行く所存ですので、今後ともよろしくお願いいたします。また、この場をおかりして、ご助力いただきました関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

追伸:当科では膀胱癌に対するロボット支援下膀胱全摘除術も施行可能です(倫理委員会承認済)。保険収載されておりませんので自費診療(200万円)になりますが、ご希望の方がおられましたらかかりつけの先生にご相談ください。



前列中央が筆者

泌尿器科主任部長 三田 耕司



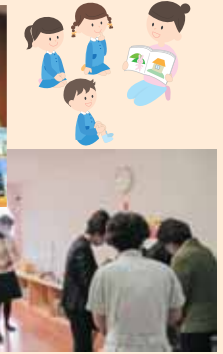
目録の贈呈

国際ソロプチミスト広島 本の寄贈について

1月13日、女性ボランティア団体「国際ソロプチミスト広島」より、児童図書100冊を寄贈していただきました。同団体は、病気の子ども達を元気付けるため、市内の病院に図書を贈る活動を続けていらっしゃいます。当院には今年で5年続けてご寄贈いただいております、小児科病棟の本棚は様々なジャンルの図書で溢れています。寄贈いただいた図書はこれからも大切にに使わせていただきます。



こんなにたくさんの
本をいただきました！



小児科病棟プレイルーム
子ども達もきっと大喜びでしょう!!

防災訓練について

平成29年2月8日（水）に院内の防火・防災訓練を実施しました。訓練終了後には安佐北消防署の方から講評をいただき、職員が日頃から防火・防災の意識を持って業務にあたる機会となりました。今後も院内訓練を実施し、防災体制の強化を図っていきます。



患者さんや職員の安否確認作業



けが人の手当て



けが人の搬送



対策本部の活動の様子



可部っ子花いっぱい大作戦



可部のまちをきれいに明るく楽しくするために、可部中学校、可部小学校、可部南小学校の3校が毎年協力して行っている「可部っ子花いっぱい大作戦」。本年も可部南小学校の児童の皆さんが、自分たちで育てたパンジーのプランターを届けに来てくださいました。

色とりどりのかわいい花が、元気をたくさん与えてくれています。ありがとうございました。



病院ボランティアを始めて半年

病院ボランティア M.Tさん

私が病院ボランティアを始めたきっかけは、子どもも成長し独立、仕事からも開放され悠々自適の生活と思いきや蟬の抜け殻状態の毎日サンデー、これでは社会との繋がりが途絶えてしまうと思い、社会活動への参加として病院ボランティアを始めました。

最初は不安や戸惑いもありましたが、再来機への案内、受診外来への案内、車椅子の介助、入退院の手伝い、図書の整理など様々な活動をおこなっています。病院ボランティアとして心がけていることは、常に相手の立場に立ち来院された方々の不安を取り除くため、笑顔で優しく声掛けをして各所に案内をする事だと思っています。解らない事や困った時は、病院スタッフやボランティア仲間から親切に指導して頂き、不安なく対応をしています。何よりも活動での喜びは、皆さまからの感謝の言葉を頂くこともあり生き甲斐にもなっています。

今後も、この活動を博愛の精神で続け社会貢献に繋がるよう努力していきたいと思っています。

※当院では、ボランティアを随時募集しています。ご希望の方は、事務室総務課までご連絡ください。



ホームページアクセス情報（12月～2月）

◆独立行政法人広島市病院機構 広島市立安佐市民病院公式サイト www.asa-hosp.city.hiroshima.jp

順位	全 体	件 数	順位	診 療 科	件 数
1	アクセス アクセス・施設	5,268	1	整形外科	3,455
2	初診の方 外来のご案内	4,545	2	外科	2,721
3	院長挨拶 病院概要	2,588	3	産婦人科	2,671
4	整形外科 診療科案内	2,116	4	循環器内科	2,310
5	採用情報 医療関係者の方へ	1,661	5	内科	2,063
6	外科 診療科案内	1,639	6	看護部	1,172
7	産婦人科 診療科案内	1,551	7	消化器内科	1,163
8	循環器内科 診療科案内	1,530	8	脳神経外科	1,027
9	ご案内 地域医療連携	1,370	9	総合診療科	935
10	救急受診について 外来のご案内	1,351	10	小児科	681

材 料 名(2人分)

タイ (70g)	2切
塩	0.5g
料理酒	小さじ1
卵白	卵1個分
長芋	100g
みりん	小さじ1
塩	1g
だし	100ml
A 醤油	小さじ1
みりん	小さじ1
B 片栗粉	大さじ1/2
水	大さじ1
C 卵黄	卵1個分
水	小さじ1/2
三つ葉	5g

作り方



タイの長芋蒸し卵黄あんかけ

タイと卵の春らしいおしゃれな1品です。
年を重ねても筋肉は減らないよう、良質のたんぱく質をとりましょう。

- ①タイは小骨を除いて塩と酒をふってしばらく置く。
- ②山芋は皮をむいてすりおろし、卵白、みりんと塩を加えて混ぜる。
- ③耐熱の器2つにそれぞれ①を入れ、②を等分にかける。ラップをかけて電子レンジ（600W）で3分～3分30秒加熱する（または蒸し器で7～10分蒸す）。
- ④小鍋にAを煮立て、Bの水で溶いた片栗粉でとろみをつける。
- ⑤Cの卵黄と水をかき混ぜ④に加える。鍋に加えた後は、あまりかき混ぜないようにして、かき玉汁のように卵を固める。
- ⑥三つ葉を粗くざみ⑤に加え混ぜる。③にかけて仕上げる。



【1人分】
エネルギー196kcal
たんぱく質18.7g
塩分1.3g

参考：栄養と料理 管理栄養士：中佐庸子

安佐市民病院の理念と基本方針

理 念

- ・愛と誠の精神をもって医療を提供します。
- ・地域の基幹病院として高度の医療・ケアを行います。

基本方針

1. 患者さまの立場を尊重し、理解と納得のもとついた医療を行います。
2. 安全な医療と快適な療養環境の提供に努めます。
3. 地域と連携し、地域医療、救急医療、トータルケアの水準の向上に努めます。
4. 最新の医療にとりくみ、医療・医学の進歩に貢献します。
5. より良い医療サービス提供のため、健全な病院運営に努めます。

患 者 の 権 利

広島市立安佐市民病院は、患者の権利に関する「リスボン宣言」を擁護し、患者の最善の利益のために安全で質の高い医療を目指します。

1. **良質の医療を受ける権利**
良質で適切な医療を公平に受ける権利があります。
2. **情報を知る権利**
ご自身の病状や治療等に関して十分な説明と情報を得る権利があります。
3. **自己決定の権利**
ご自身の健康状態について十分な説明を受け、ご自身の自由な意思で検査や治療方法を選ぶ権利があります。
4. **選択の自由の権利**
病院あるいは保健サービス施設等を自由に選択し、変更する権利があります。
セカンド・オピニオン（別の医師の意見を求める権利）を求める権利があります。
5. **健康教育を受ける権利**
健康的なライフスタイルや、疾病の予防および早期発見等に関する情報を与えられた上で自己選択（インフォームド・チョイス）できる権利があります。

6. 個人情報・プライバシーが守られる権利

医療従事者が医療上知り得た個人情報は保護され、プライバシーが守られる権利があります。

7. 尊厳が守られる権利

個人として尊重され、尊厳を保ち安楽に終末期を迎えるための、あらゆる可能な支援を受ける権利があります。

お 願 い

当院で安全で質の高い医療・看護が適切に受けられるためご協力をお願いします。

- ・ご自身の健康に関する情報をできる限り正確に伝え、医療従事者と共同して診療に参加してください。
- ・快適な療養環境の維持に協力をお願いします。
- ・医療安全の実践に協力をお願いします。
- ・病院の規則を守ってください。
- ・他の患者の療養に支障を与えないように配慮をお願いします。
- ・医療人の育成に協力をお願いします。
- ・現在考えられる安全な臨床医学の範囲を超える要求には応じられないことをご承知ください。